

## 専門家会議プログラム

総合司会：岡上雅美（筑波大学人文社会科学研究科社会科学専攻助教授）

同時通訳：相澤啓一（筑波大学人文社会科学研究科文芸・言語専攻助教授）、桑折千恵子、石川桂子

### 第1日目：2006年3月9日木曜日

- 主催者挨拶 13:30  
工藤典雄（筑波大学国際交流担当副学長）  
上田浩二（ベルリン日独センター副事務総長、筑波大学人文社会科学研究科現代文化・公共政策専攻教授）
- プロジェクトおよび専門家会議の趣旨説明 13:40  
本澤巳代子（筑波大学人文社会科学研究科社会科学専攻教授）
- 家族と家族政策の歴史的展開
- ・日独における家族概念・家族形態の歴史的展開 13:50  
姫岡とし子（筑波大学人文社会科学研究科歴史・人類学専攻教授）
  - ・国家政策の対象としての家族（基本理念、哲学、歴史的展開）
    - a) 日本側の考え方 14:20  
増田雅暢（内閣府参事官、少子・高齢化対策第一担当）
    - b) ドイツ側の考え方～家族政策の意義 14:40  
ヴォルフガング・マインケ（連邦家族・高齢者・女性・青少年省参事官）
  - ・討論 15:00  
座長：ハラルド・クラインシュミット（筑波大学人文社会科学研究科国際政治経済学専攻長）  
テーマ：家族・家族政策とは？日本には、なぜ家族政策の概念がないのか？  
コーヒーブレイク 15:40
  - 人口構造および経済的基盤としての家族
    - ・社会における家族構造の展開～社会の人口構造上の基盤として 16:00  
阿藤誠教授（早稲田大学特任教授、国立社会保障・人口問題研究所前所長）
    - ・家族の経済的意義（労働力不足の問題やそのマイナス効果） 16:30  
白波瀬佐和子（筑波大学システム情報工学研究科社会システム・マネジメント専攻助教授）
    - ・討論 17:00  
座長：新井誠教授（筑波大学ビジネス科学研究科法曹専攻長）  
テーマ：家族政策の必要性、家族政策の目標（人口政策ではない）
- 第1日目終了 17:30
- 筑波大学主催レセプション 18:00

第2日目：2006年3月10日金曜日

■主催者挨拶	9:30
波多野澄雄（筑波大学人文社会科学研究科長）	
■家族の社会的意義と社会的認知	
・家族の社会的意義（育児・看護・介護などの担い手としての家族）	9:35
下夷美幸（法政大学社会学部助教授）	
・家族的労働と稼働労働（家族的労働の社会的認知）	10:05
ベルント・パロン・フォン・マイデル（マックスプランク国際社会保障法研究前所長）	
・討論	10:35
座長：田中洋子（筑波大学人文社会科学研究科社会科学専攻助教授）	
テーマ：家族的労働の社会的意義と社会的認知のあり方	
コーヒーブレイク	11:05
■家族のための経済的・社会的支援	
・日本の社会保障法における家族関係給付の現状	11:20
江口隆裕（筑波大学ビジネス科学研究科企業科学専攻長）	
・ドイツの保育サービス・両親休暇等の育児支援の現状	11:50
エーファ・マリア・ホーネルライン（マックスプランク国際社会保障法研究所研究員）	
・討論	12:20
座長：田宮菜奈子（筑波大学人間総合科学研究科ヒューマン・ケア科学専攻教授）	
テーマ：家族のための経済的・社会的支援とその効果	
昼食	12:50
■欧州諸国における家族政策	
・ドイツにおける家族の実態の変化と家族政策上の範例変更	14:00
ウタ・マイアー＝グレーヴェ（ギーゼン大学家政・消費研究経済理論研究所長、連邦議会第7家族報告書委員会委員）	
・討論	14:30
座長：ハラルト・コンラット博士（ドイツー日本研究所副所長）	
テーマ：欧州諸国における経験から何を学ぶことができるか？	
コーヒーブレイク	15:00
■報告者と参加者による全体討論	
座長：本澤巳代子教授（筑波大学人文社会科学研究科社会科学専攻法律分野）	
・21世紀における現代的な家族政策の目標と課題	15:20
・現代的な家族政策に関する提案の紹介と修正	16:50
■専門家会議総括および主催者代表としての閉会の辞	17:20
ベルント・パロン・フォン・マイデル（マックスプランク国際社会保障法研究所前所長）	
第2日目終了	17:30

## シンポジウムプログラム

2006年3月11日 土曜日

- 主催者・来賓挨拶 13:30  
岩崎洋一（筑波大学学長）  
猪口邦子（内閣府特命担当大臣、少子化・男女共同参画）
- シンポジウム趣旨説明 13:40  
フロリアン・クルマス（ドイツ-日本研究所所長）
- 日本とドイツにおける家族概念・構造の歴史的展開 13:50  
姫岡とし子（筑波大学人文社会科学部研究科歴史・人類学専攻教授）
- 日本の家族支援に関する諸政策の現状と課題 14:10  
増田雅暢（内閣府参事官、少子・高齢化対策第一担当）
- 休憩 14:30
- ドイツにおける家族政策の現状と課題 14:45  
ヴォルフガング・マインケ（連邦家族・高齢者・女性・青少年省参事官）
- 幾つかの欧州諸国を選んだ上での家族政策の比較検討 15:05  
ウタ・マイアー=グレーヴェ（ギーゼン大学家政・消費経済理論研究所長、連邦議会第7家族報告書委員会委員長）
- 21世紀の「家族のための総合政策」の目標と課題 15:25  
ベルント・バロン・フォン・マイデル（マックスプランク国際社会保障法研究所前所長）
- 休憩 15:45
- 全体討論 16:00  
コーディネータ：江口隆裕（筑波大学ビジネス科学研究科企業科学専攻長）  
討論者：ベルント・バロン・フォン・マイデル、ウタ・マイアー=グレーヴェ、ヴォルフガング・マインケ、姫岡とし子、増田雅暢、ハラルト・コンラット（ドイツ・日本研究所副所長）、エーファ・マリア・ホーネルライン（マックスプランク国際社会保障法研究所研究員）
- 21世紀の「家族のための総合政策」に関する提言 16:40  
本澤巳代子（筑波大学人文社会科学部研究科社会科学専攻教授）
- シンポジウム総括 16:45  
ベルント・バロン・フォン・マイデル（マックスプランク国際社会保障法研究所前所長）
- 主催者閉会の挨拶 16:55  
上田浩二（ベルリン日独センター副事務総長、筑波大学人文社会科学部研究科現代文化・公共政策専攻教授）
- シンポジウム終了 17:00

総合司会：阿部陽子（NHKアナウンス室、筑波大学1988年卒）

同時通訳：相澤啓一（筑波大学人文社会科学部研究科文芸・言語助教授）、桑折千恵子、石川桂子